

【巡回指導〈3〉】会津若松市立 一箕中学校

日程：2019年 5月25日(土)

参加者：一箕中学校(26名) / 青木先生

指導者：小野章三(元堺ブレイザーズ)

同行者：事務局/高木副実行委員長、小色尚子 会員：メタルワン(株)東北支社 1名



1年生が10名入部した一箕中バレー部の3回目の巡回指導は1、2回目に引き続き小野コーチの指導です。この日は会員であるメタルワン(株)東北支社の清野支社長が見学に来てくださり、「沢山のことを学び、ひとつでも多く吸収してください」と励ましの言葉を下さいました。3人レシーブでは相手の動きを予測することや、ボールの動きに対して瞬時の行動など繰り返し練習しました。小野コーチの言葉を聞くみんなの姿勢が真剣です。



3人~4人でチームを組んでバックアタックゲームをしました。その中でセッターにアンダーパスやオーバーパスで良いパスで届けられるように小野コーチが指導しました。「もっと高く!もっと長く!もっと!」小野コーチの魂の声が生徒一人一人に投げかけられます。「そう!いいよ!もう一度!」と何度も繰り返して練習しました。苦しくてもみんな諦めずに頑張ります。「できたこの感覚を体で覚えること。繰り返すことで自分のものになります。ただプレーするのではなく、考えてプレーすること」と小野コーチから言葉がありました。2年生も3年生の相手チームとなり、先輩を後押しします。厳しい練習の中、たくさんの笑いがこぼれました。



最後は6人のフォーメーションを重点的に指導しました。「笛が鳴ったらどんなサーブが来るか考える。ボールが来てから反応するからボールに追いつかない。ボールに反応するのではなく、相手の行動からボールを予測し、行動する。考えるバレーを意識して!」と小野コーチ。次第にみんなの集中力がどんどん増していき、食欲にボールに喰らいついてチームが1つにまとまってくるのが、ヒシヒシと伝わってきました。楽しさも苦しみも一緒に頑張ってきたチーム。最後まで諦めずに自分たちらしいバレーボールをして欲しいと願います。心をつないで、ボールをつないで頑張れ、一箕中学校!!